

- 問1 「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと云えり」という一節で有名な著書『学問のすゝめ』を書き、人間の自由や権利、平等な関係の重要性を説いた人物は誰ですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 板垣退助 2. 福沢諭吉 3. 中江兆民 4. 津田梅子
-
- 問2 「17世紀から20世紀後半に至る世界の権利や民主化に関する略年表」において、日本の自由民権運動が始まった1870年代から約20年が経過し、日本が日清戦争に勝利した時期の外交的な出来事について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. ポーツマス条約を締結し、ロシアから賠償金は得られなかったものの、南樺太の領有権や大連・旅順の租借権を獲得した。 2. 下関条約によって一度は遼東半島を獲得したが、ロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉を受けて清に返還した。 3. ベルサイユ条約の調印に参加し、山東省におけるドイツの権益を継承するとともに、国際連盟の常任理事国となった。 4. 樺太・千島交換条約を締結することで、樺太をロシア領、千島列島を日本領とすることを正式に決定した。
-
- 問3 1890年代の日本において、大阪に大規模な工場が建設され、「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど発展した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 養蚕業が盛んになり、海外へ輸出するための生糸の生産が集中したため。 2. 機械による紡績業が発展し、綿糸の輸出量が輸入量を上回ったため。 3. 外国からの安価な綿糸の輸入が急増し、国内産業を保護する必要があったため。 4. 官営の八幡製鉄所が操業を開始し、鉄鋼の輸出が急増したため。
-
- 問4 明治時代、日露戦争の激戦地である旅順の包囲軍に加わっていた弟を思い、雑誌『明星』に「あゝをとうとよ、君を泣く、君死にたまふことなかれ」という詩を発表し、個人の生命の尊さを訴えた人物は誰ですか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 樋口一葉 2. 津田梅子 3. 与謝野晶子 4. 平塚らいてう
-
- 問5 1880年代の明治政府において、外務卿の井上馨を中心に行われた、欧米の生活様式を積極的に取り入れることで日本の近代化を対外的にアピールしようとした政策を何といいますか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 文明開化 2. 殖産興業政策 3. 欧化政策 4. 富国強兵
-
- 問6 1895年の三国干渉によって日本国内でロシアへの警戒感が高まってから、1919年の第一次世界大戦終結（ベルサイユ条約締結）までの期間に起こった歴史的事実として正しいものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. インドネシアで植民地支配に反対するアジア・アフリカ会議が開催された。 2. イギリス船が日本人乗客を見捨てたノルマントン号事件が起こった。 3. 板垣退助らによって民撰議院設立の建白書が提出された。 4. ロシアの南下政策に対抗するため、日英同盟が締結された。
-
- 問7 明治政府は、欧米諸国に対抗して日本の経済力と軍事力を高めるために「富国強兵」をスローガンとして掲げました。その一環として、富岡製糸場のような官営模範工場の建設や、鉄道・郵便などの通信網の整備を通じて、近代的産業を育成しようとした政策の名称を選びなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 廃藩置県 2. 地租改正 3. 殖産興業 4. 文明開化
-
- 問8 明治時代の統計において、1903年から1905年にかけて租税による収入額が急増している状況が見られます。この時期、政府が国民に重い増税を課してまで多額の資金を必要とした、歴史的な背景として正しいものを選んでください。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 日露戦争の継続に必要な莫大な戦費を調達し、戦時財政を維持するため。 2. 八幡製鉄所の建設をはじめとする、重化学工業の国有化を急いだため。 3. 欧米諸国から不平等条約の改正を勝ち取るための外交資金が必要だったため。 4. 日清戦争に勝利した結果、下関条約で義務付けられた賠償金を清に支払うため。
-
- 問9 明治時代から昭和初期にかけての日本の外交史を振り返る際、1894年の日清戦争開始よりも前の時期に、ロシアとの国境を画定させる目的で行われた出来事として正しいものを選びなさい。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 日英同盟の締結 2. 小村寿太郎による関税自主権の完全な回復 3. 樺太・千島交換条約の締結 4. ベルサイユ条約への調印
-
- 問10 第1回衆議院議員総選挙当時の状況について、有権者が全人口の約1.1パーセントと極めて少なかった理由として、制度上の背景を説明したものを選びなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 兵役の義務を果たした者のみに選挙権を認める制限があったため。 2. 都市部に住む戸主に限定して選挙権が付与されていたため。 3. 「満20歳以上」という年齢制限が当時の平均寿命に対して高すぎたため。 4. 「直接国税15円以上」という高い納税額の条件が課せられていたため。
-
- 問11 1904年に始まった日露戦争の最中、雑誌『明星』に「君死にたまふことなかれ」という詩を発表し、戦場に送られた弟を思う心情を率直に表現した歌人は誰ですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 津田梅子 2. 市川房枝 3. 与謝野晶子 4. 樋口一葉
-
- 問12 明治後期の東アジア情勢において、清で発生した大規模な反乱（北清事変）に対し、日本が他国を上回る規模の軍隊を速やかに派遣した主な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 清との軍事同盟に基づき、清の王朝を反乱軍から保護するため 2. 日本国内で発生していた自由民権運動の関心を海外へそらすため 3. ロシアと協力して、清を南北に分割統治する合意があったため 4. 地理的な近さを活かして軍事力を示し、国際社会での発言力を高めるため
-
- 問13 1911年に小村寿太郎が成し遂げた「関税自主権の回復」が、当時の日本の社会や経済に与えた影響として最も適切な説明はどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 輸出時にかかる税を日本が自由に引き下げること、欧米市場への進出を強引に進めた。 2. 外国人の居住地を制限する制度を廃止し、全国どこでも自由な商売ができるようにした。 3. 安価な外国製品に対して適切な税をかけることが可能になり、国内の産業を保護・育成しやすくなった。 4. 日本国内で犯罪を犯した外国人を日本の法律で裁くことが可能になり、司法の独立が守られた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 福沢諭吉	この人物は、封建的な身分制度を否定し、個人が学問を修めて実力や知恵を身につけることが、個人の独立、ひいては国家の独立につながると考えました。欧米の事情を日本に紹介し、近代的な思想を広めた啓蒙思想家の代表格です。
問2	答え 2 下関条約によって一度は遼東半島を獲得したが、ロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉を受けて清に返還した。	日清戦争後の1895年に結ばれた下関条約では、日本は清から遼東半島、台湾、澎湖諸島を譲り受けることが決まりました。しかし、東アジアへの進出を狙っていたロシアは、ドイツやフランスとともに日本に対して「遼東半島を清に返還すること」を要求しました。これを三国干渉と呼び、当時の日本はこれを受け入れるほかありませんでした。選択肢にある樺太・千島交換条約は1875年、ポーツマス条約は1905年、ベルサイユ条約は1919年の出来事であり、時期や内容が異なります。
問3	答え 2 機械による紡績業が発展し、綿糸の輸出量が輸入量を上回ったため。	1880年代から1890年代にかけて、大阪紡績会社などの大規模な紡績工場が設立され、機械による大量生産体制が整いました。大阪周辺には女性労働者が多く集まり、安価で質の高い綿糸を生産できるようになった結果、1890年代後半には綿糸の輸出額が輸入額を追い越す産業革命の大きな転換点を迎えました。一方、鉄鋼の自給が可能になるのは、1901年の八幡製鉄所の操業開始以降のことです。
問4	答え 3 与謝野晶子	日露戦争の最中、軍国主義的な風潮が強まる社会において、与謝野晶子は出征した弟の身を案じ、家族の情愛や生命の尊厳を真っ向から表現しました。この詩は当時の社会に大きな衝撃を与え、論争を巻き起こしました。樋口一葉は「たけくらべ」などで知られる小説家、平塚らいてうは「青鞥」を創刊した女性解放運動家です。
問5	答え 3 欧化政策	明治政府は、幕末に結ばれた不平等条約の改正を悲願としていました。このため、日本が欧米に引けを取らない近代的な文明国家であることを諸外国に示す必要があり、西洋の生活習慣やマナーを導入する政策がとられました。この一連の動きを欧化政策と呼びます。明治初期の自然な文化流入を指す「文明開化」とは、政府による意図的な政策であるという点で区別されます。
問6	答え 4 ロシアの南下政策に対抗するため、日英同盟が締結された。	日英同盟は1902年に締結されました。これは日清戦争後の三国干渉（1895年）を受けてロシアとの対立が深まった時期と、第一次世界大戦（1914～1918年）の終結によって同盟の役割が変化していく時期の間にあたります。ノルマントン号事件は1886年、アジア・アフリカ会議は第二次世界大戦後の1955年、民権議院設立の建白書は1874年の出来事であり、いずれも指定された期間外です。
問7	答え 3 殖産興業	明治政府は、日本を近代国家へと成長させるために、国が主導して新しい産業を育てる必要がありました。そのために行われたのが「殖産興業」です。具体的には、西洋の技術を導入した官営工場の設立や、新橋・横浜間の鉄道開通、さらには海運や郵便制度の整備など、民間の産業が発展しやすい環境を整えました。これにより、日本の資本主義の基礎が築かれました。
問8	答え 1 日露戦争の継続に必要な莫大な戦費を調達し、戦時財政を維持するため。	1903年から1905年にかけての租税収入の急増は、1904年に始まった日露戦争の戦費調達と密接に関係しています。日露戦争は日本の国家予算を遥かに超える規模の総力戦となったため、政府は外債の発行（外国からの借金）だけでなく、国内での増税を繰り返すことで軍費を捻出しました。この時期の財政は、まさに戦争を継続するために国民の負担を最大化させた状態にありました。
問9	答え 3 樺太・千島交換条約の締結	明治政府は初期の外交課題として隣国との国境確定を急いでおり、1875年にロシアとの間で樺太・千島交換条約を締結しました。これは日清戦争（1894年）よりも約20年早い出来事です。選択肢にある日英同盟は1902年、関税自主権の回復は1911年、ベルサイユ条約は1919年（第一次世界大戦後）の出来事であり、いずれも日清戦争よりも後にあたります。
問10	答え 4 「直接国税15円以上」という高い納税額の条件が課せられていたため。	明治政府が実施した最初の選挙制度は、高額納税者にのみ参政権を認める制限選挙でした。この「直接国税15円以上」という基準は、当時の物価水準では農村の有力な地主や都市の富裕な商工業者でなければ満たせないほど高いハードルでした。その結果、一般の労働者や小作農などは政治から排除される形となりました。この納税条件は、その後の選挙法改正を経て徐々に引き下げられ、1925年の普通選挙法によって完全に撤廃されることになります。
問11	答え 3 与謝野晶子	国家を挙げて戦争を支持する風潮が強かった当時、一人の女性として弟の無事を願う個人的な感情を詠んだこの詩は、社会に大きな衝撃を与えました。日露戦争期を代表する反戦的な文学作品としてもしばしば取り上げられます。
問12	答え 4 地理的な近さを活かして軍勢力を示し、国際社会での発言力を高めるため	日本は地理的な近さを理由に、列強の要請を受けて連合軍の主力として大規模な出兵を行いました。この迅速な対応と規律ある行動は、イギリスなどの列強から高く評価されました。これが後の日英同盟締結へとつながる大きな要因の一つとなりましたが、同時に清への軍隊駐留を強めたロシアとの対立が深まり、日露戦争の背景にもなりました。
問13	答え 3 安価な外国製品に対して適切な税をかけることが可能になり、国内の産業を保護・育成しやすくなった。	関税自主権がない状態では、安価な外国製品が大量に流入しても高い関税をかけて防ぐことができず、国内の産業が育ちにくいという課題がありました。この権利を回復したことで、政府は自国の産業を守るための関税政策をとることが可能になり、日本の工業化をさらに推し進める一助となりました。なお、外国人を日本の法律で裁く権利は「領事裁判権の撤廃」に関する説明です。